数字で見る
姫路経済 2018

姫路商工会議所
姫路経済研究所

目　　次

1．姫路市の歴史…… 1

2．姫路市の概要…… 2

3．人　口

（1）世帯数、総人口等の推移及び編入・合併等の変遷…… 3

（2）人口増減…… 4

（3）年齢階層別人口推移及び将来人口…… 5

（4）小学校校区別人口推移及び推計…… 6

（5）世帯類型別推移及び推計…… 9

4．産　業

（1）産業構造……10

（2）製 造 業……11

（3）卸 売 業……12

（4）小 売 業……13

（5）その他関連指標……14

5．観　光……15

6．姫路市内景気動向……16

7．姫路市の統計データランキング……17

（表紙写真：「姫路フォトバンク」、姫路市提供）

1　姫路市の歴史

姫路市は、兵庫県の南西部に広がる播磨平野の中央部にあり、神戸市まで約50km、岡山市まで約70kmの距離にあり、京阪神、中国、山陰を結ぶ交通の要衝となっている。

明治22年（1889年）４月に江戸時代の城下町とその外縁部（面積約３㎢）を市域とする人口約25,000人の都市として、全国30市とともに我が国初の市制を施行したところから始まる。

大正時代には、姫路駅周辺は一大ターミナルとして商業施設が集積するとともに、旧制高校のうちの１校である旧制姫路高等学校が大正13年（1924年）に開校し、文教府としての側面を持つようになった。

工業化の面では、明治後期から昭和にかけ紡績業等の軽工業が発展するとともに、大正から昭和にかけて臨海部に製鉄業等の重工業が進出し、人口の集積に伴い市街地が拡大した。

太平洋戦争では２回の空襲により市街地は壊滅的な打撃を受けたが、戦後復興を早期に果たすべく市のシンボルロードである大手前通りの整備や市街地の改造に取り組み、姫路駅周辺の復興が図られた。

高度経済成長期には、播磨臨海工業地帯の中心としての役割を担い、商工業都市として今日の姿へと発展を遂げてきた。

平成５年に姫路城が法隆寺とともに日本で初めて世界文化遺産に登録された。

本市は、明治から昭和40年代にかけて計11回に及ぶ市町村合併により市域を拡大してきた。平成18年（2006年）には近隣４町（家島町、夢前町、香寺町、安富町）と合併し人口53万人の新生「姫路市」が誕生した。

現在、産業面では、「ものづくり産業」の厚い集積がある特性を備え、臨海部には鉄鋼、化学などの大企業やそれらを支える技術力のある中小企業が集積し、全国有数の工業地帯を形成している。また、市内に姫路工業大学を前身とする兵庫県立大学工学部や全国初の「公私協力方式」で設立された姫路獨協大学などがあり、産官学が連携して、研究協力や学術交流を行っている。

平成27年（2015年）３月には、平成の大修理を終えた姫路城がグランドオープンし、初年度は286万人の登閣者数を記録した。

平成27年（2015年）度より、本市は「播磨圏域連携中枢都市圏（８市８町）」における中枢市となり、地方が踏みとどまるための拠点として、人口減少の防波堤となることを期待されている。

姫路駅を中心とする開発については、都市のまちづくりの指針となる「都心部まちづくり構想」及び「キャスティ21整備プログラム」等に基づき、姫路駅周辺の整備が進められている。北駅前広場を含むエントランスゾーンは、平成27年４月に完成し、その東に隣接するコアゾーンについても、ホテル、シネマコンプレックス、専門学校等が順次供用開始となっている。イベントゾーンには、「文化コンベンションセンター」と「県立病院」の建設が予定されており、高次都市機能を集積させた播磨圏域の中枢都市としてふさわしい都市空間整備が行われている。

世界文化遺産・国宝　姫路城

●市鳥　シラサギ

●市花　サギ草

●市蝶　ジャコウアゲハ

●市木　カシ

●市名のいわれ

播磨国風土記「日女道丘」(ひめじおか）に由来します。

（資料：姫路市「ひめじ創生戦略」、「姫路フォトバンク」）

2 姫路市の概要

人口	532,994人　（平成29年（2017年）10月1日現在）
面積	534.35㎢　（平成30年（2018年）5月1日現在）
世帯数	216,774世帯　（平成29年（2017年）10月1日現在）
人口増減	【自然増減数】 ▲1,076人 （出生） 4,343人　（死亡） 5,419人　（平成29年（2017年）） 【社会増減数】 ▲436人 （転入） 14,517人　（転出） 14,953人　（平成29年（2017年））
産業	【事業所数】 23,660事業所　（平成28年経済センサス－活動調査 産業横断的集計） （製造業） 1,075事業所（従業者4人以上）　（平成28年経済センサス－活動調査 産業別集計） 【製造品出荷額等】 2兆3,495億円 （卸売業） 1,356事業所　（平成28年経済センサス－活動調査 産業別集計） 【年間商品販売額】 1兆1,043億円 （小売業） 3,688事業所　（平成28年経済センサス－活動調査 産業別集計） 【年間商品販売額】 5,780億円
経済	平成27年度市民経済計算（経済活動市内総生産） 【市内総生産（GDP）】 2兆2,855億円　（構成比） （第1次産業） 93億円　0.4% （第2次産業） 6,829億円　29.9% （第3次産業） 1兆5,767億円　69.0% （輸入品税等） 165億円　0.7% 【就業者1人あたり】 821万円　（兵庫県「平成27年度市町民経済計算」）
観光入込客数	【平成27年（2015年）度】 1,190万人（姫路城登閣者数：287万人） 【平成28年（2016年）度】 1,026万人（姫路城登閣者数：211万人） 【平成29年（2017年）度】 987万人（姫路城登閣者数：182万人） （姫路市「平成29年度姫路市入込客数・観光動向調査報告書」）
姉妹都市	【海外】 シャルルロア市（ベルギー） フェニックス市（アメリカ） アデレード市（オーストラリア） クリチーバ市（ブラジル） 太原市（中国） 昌原市（韓国） 【国内】 鳥取市（鳥取県） 松本市（長野県）
姉妹城	シャンティイ城（フランス・ロワーズ県）
観光交流協定締結城	ノイシュバンシュタイン城（ドイツ・バイエルン州）
位置及び地勢	【位置】 東経 134度41分　北緯 34度49分 【距離】 東西 約35.7km　南北 約55.5km 【海抜】 最高海抜（夢前町山之内）　海抜 977m 【河川】 最長河川（市川）　流路延長 77.554km
気候	平均気温 / 最高気温 / 最低気温 / 降水量 / 最大降水量 【平成27（2015）年】 15.8℃ / 36.3℃ / ▲3.6℃ / 1,641mm / 193mm 【平成28（2016）年】 16.3℃ / 37.1℃ / ▲5.6℃ / 1,552mm / 114mm 【平成29（2017）年】 15.3℃ / 35.8℃ / ▲4.0℃ / 1,267mm / 131mm （年あたり）（日あたり）（気象庁）

シャンティイ城

ノイシュバンシュタイン城

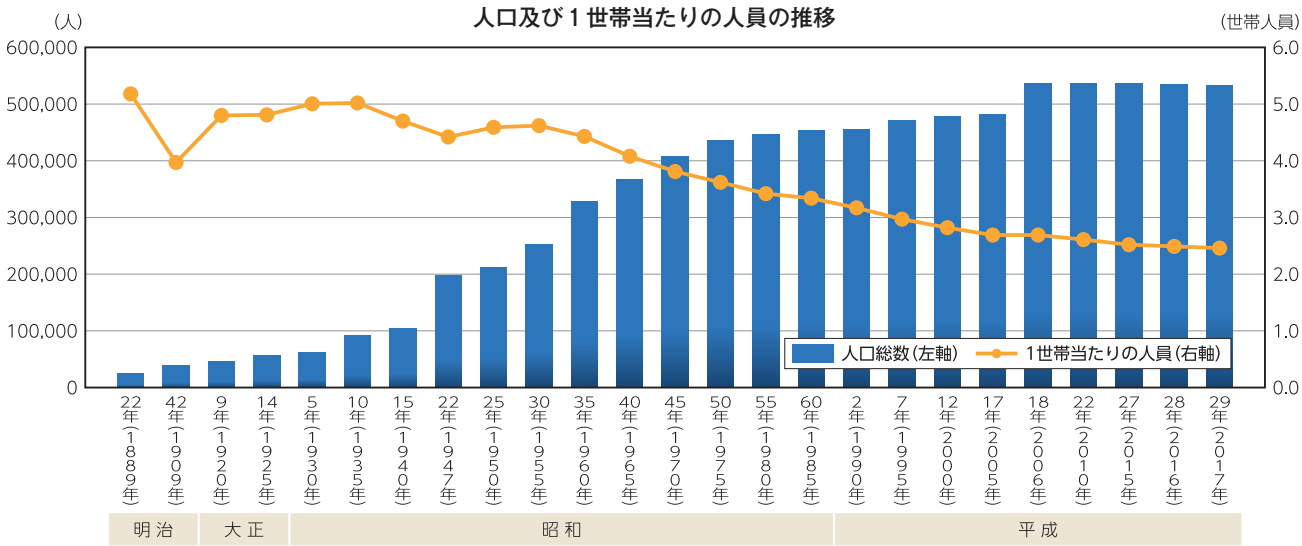
3 人 口　(1) 世帯数、総人口等の推移及び編入・合併等の変遷

■世帯数、総人口等の推移及び編入・合併等の変遷

区分				世帯数	人口 総数	人口 男	人口 女	人口性比（男／女）	1世帯当たりの人員	編入又は合併地域
	明治	22年	1889年	4, 815	24, 958	—	—	—	5. 18	明治22年４月１日　姫路市制施行
	明治	42年	1909年	9, 629	38, 247	19, 497	18, 750	104. 0	3. 97	明治45年　飾磨郡国衙村及び市殿村の一部
①	大正	９年	1920年	9, 535	45, 750	23, 306	22, 444	103. 8	4. 80	
②	大正	14年	1925年	11, 582	55, 713	27, 415	28, 298	96. 9	4. 81	大正14年　城北村
③	昭和	５年	1930年	12, 552	62, 171	31, 172	30, 999	100. 6	4. 95	昭和８年　水上村、神崎郡砥堀村
④	昭和	10年	1935年	18, 210	91, 375	44, 125	47, 250	93. 4	5. 02	昭和10年　城南・高岡村 昭和11年　安室・荒川・手柄村
⑤	昭和	15年	1940年	22, 188	104, 259	49, 548	54, 711	90. 6	4. 70	昭和21年　飾磨市、白浜・広畑・網干町、大津・勝原・余部村
⑥	昭和	22年	1947年	44, 687	197, 299	96, 402	100, 897	95. 5	4. 42	
⑦	昭和	25年	1950年	46, 255	212, 100	102, 385	109, 715	93. 3	4. 59	昭和29年　曽左・余部・糸引・八木、揖保郡太市村
⑧	昭和	30年	1955年	54, 586	252, 315	124, 092	128, 223	96. 8	4. 62	昭和32年　四郷・花田・御国野・別所村 昭和33年　飾東・的形村、神南町 昭和34年　大塩町
⑨	昭和	35年	1960年	74, 188	328, 689	162, 152	166, 537	97. 4	4. 43	
⑩	昭和	40年	1965年	90, 098	367, 807	180, 343	187, 464	96. 2	4. 08	昭和42年　林田町
⑪	昭和	45年	1970年	107, 302	408, 353	200, 072	208, 281	96. 1	3. 81	
⑫	昭和	50年	1975年	120, 619	436, 086	213, 641	222, 445	96. 0	3. 62	
⑬	昭和	55年	1980年	130, 445	446, 256	217, 174	229, 082	94. 8	3. 42	
⑭	昭和	60年	1985年	135, 618	452, 917	219, 540	233, 377	94. 1	3. 34	
⑮	平成	２年	1990年	143, 522	454, 360	219, 270	235, 090	93. 3	3. 17	
⑯	平成	７年	1995年	158, 818	470, 986	227, 240	243, 746	93. 2	2. 97	
⑰	平成	12年	2000年	169, 765	478, 309	230, 649	247, 660	93. 1	2. 82	
⑱	平成	17年	2005年	178, 987	482, 304	232, 553	249, 751	93. 1	2. 69	
	平成	18年	2006年	199, 091	536, 067	258, 783	277, 284	93. 3	2. 69	平成18年３月27日　家島町、夢前町、香寺町、安富町
⑲	平成	22年	2010年	205, 587	536, 270	259, 320	276, 950	93. 6	2. 61	
⑳	平成	27年	2015年	212, 801	535, 664	258, 724	276, 940	93. 4	2. 52	
	平成	28年	2016年	214, 838	534, 452	258, 152	276, 300	93. 4	2. 49	
	平成	29年	2017年	216, 774	532, 994	257, 416	275, 578	93. 4	2. 46	

注）○印は国勢調査結果（各年10月１日現在）　　（資料：国勢調査、姫路市「姫路市の推計人口」）
平成18年(2006年)、平成28年(2016年)、平成29年(2017年)は姫路市推計人口（各年10月１日現在）

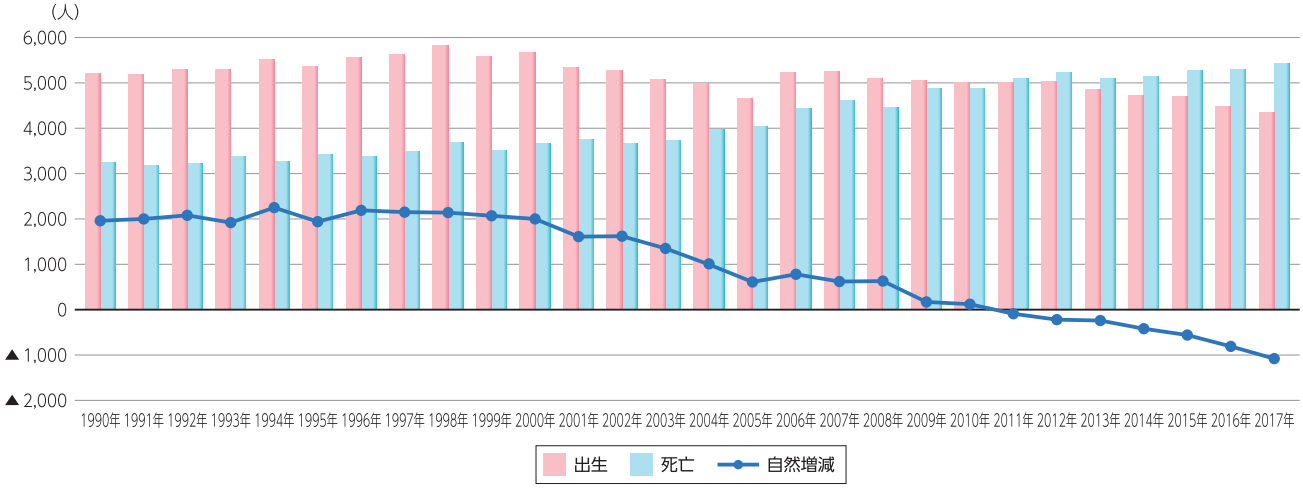
人口及び１世帯当たりの人員の推移



3 人 口 (2) 人口増減

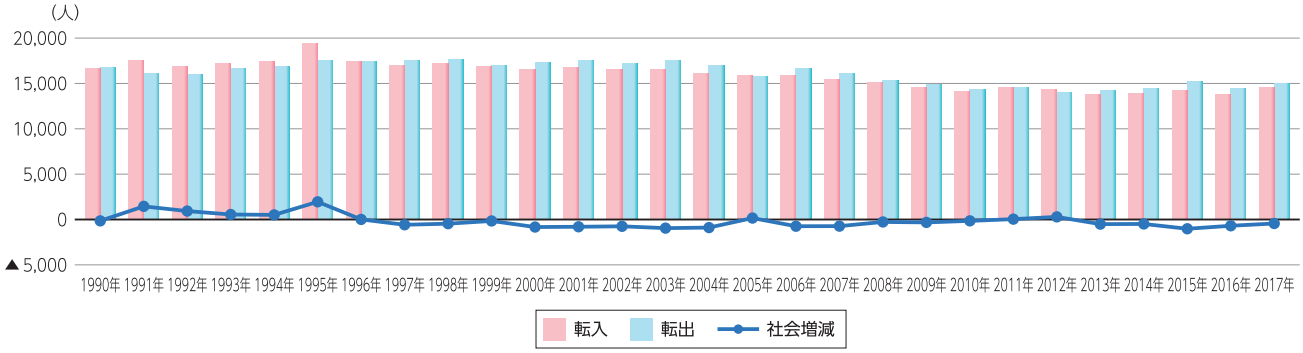
■自然増減の推移

出生は平成10年（1998年）の5,814人をピークに減少傾向にある一方、死亡は年々増加傾向にある。出生から死亡を差し引きした自然増減は平成６年（1994年）の2,249人をピークに減少を辿り、平成23年（2011年）以降はマイナスに転じている。



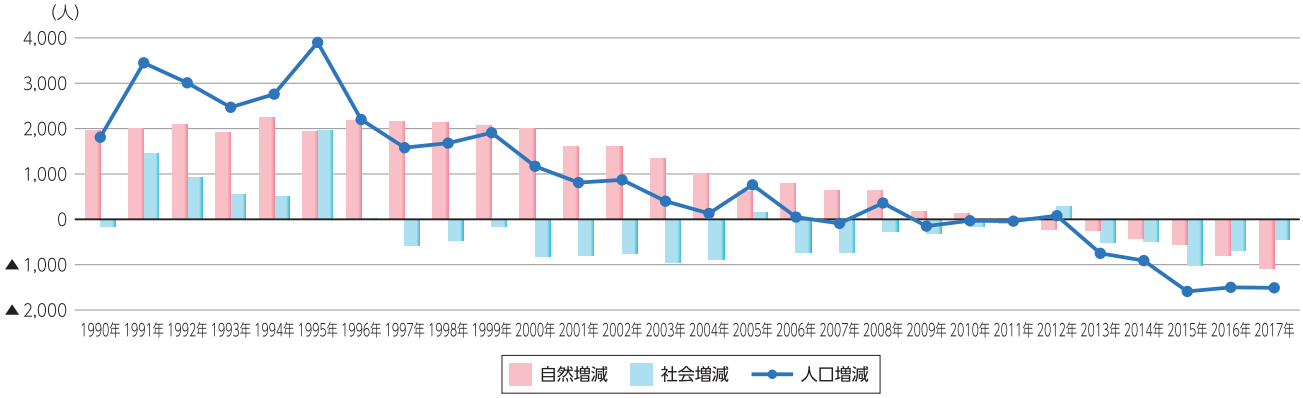
■社会増減の推移

転入は平成７年（1995年）の19,455人をピークに減少傾向にあるが、転出も平成10年（1998年）の17,657人をピークに減少傾向にある。転入から転出を差し引きした社会増減は、転入がピークであった平成７年（1995年）が1,954人の転入超過であり、平成27年（2015年）は転出超過の▲1,024人となっている。平成25年（2013年）以降は転出超過が続いている。



■人口増減の推移

自然増減と社会増減を差し引きした人口増減をみると、平成７年（1995年）の3,896人増加をピークに減少傾向であり平成19年（2007年）には初めて▲85人とマイナスに転じ、さらに平成25年（2013年）以降は年々マイナス傾向にあり、平成29年（2017年）は▲1,512人となっている。



（資料：姫路市「人口異動状況」）

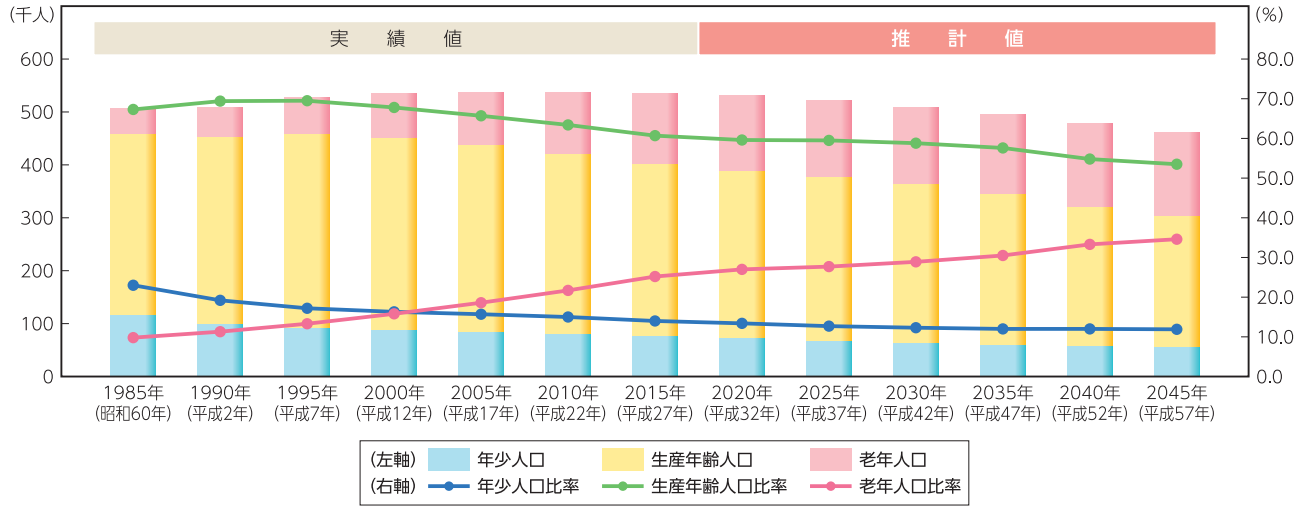
3 人 口 (3) 年齢階層別人口推移及び将来人口

平成27年（2015年）の人口は535, 664人であり、当研究所の推計では2045年に73, 703人（13. 8%）減少の461, 961人となる。年齢３層別にみると、年少人口は20, 166人（26. 8%）減少の55, 021人、生産年齢人口は78, 073人（24. 0%）減少の247, 157人となった一方、老年人口は24, 536人（18. 1%）増加の159, 783人となる推計結果となった。

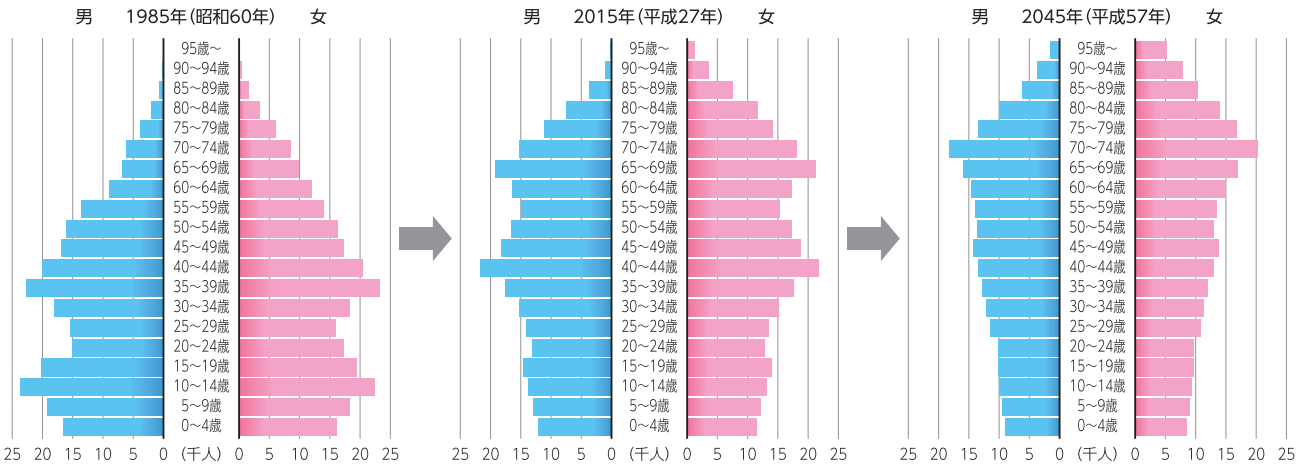
■年齢３層別人口の推移及び将来人口

	年 次	総 人 口	年少人口（～14歳）		生産年齢人口（15～64歳）		老年人口（65歳～）	
実績値	1985年 昭和60年	506, 101	116, 164	23. 0%	340, 387	67. 3%	49, 534	9. 8%
	1990年 平成２年	509, 129	97, 643	19. 2%	353, 420	69. 4%	57, 460	11. 3%
	1995年 平成７年	527, 854	90, 720	17. 2%	366, 709	69. 5%	70, 384	13. 3%
	2000年 平成12年	534, 969	87, 325	16. 3%	363, 235	67. 9%	84, 387	15. 8%
	2005年 平成17年	536, 232	84, 007	15. 7%	352, 455	65. 7%	99, 606	18. 6%
	2010年 平成22年	536, 270	80, 194	15. 0%	339, 964	63. 4%	116, 112	21. 7%
	2015年 平成27年	535, 664	75, 187	14. 0%	325, 230	60. 7%	135, 247	25. 2%
推計値	2020年 平成32年	531, 021	71, 043	13. 4%	316, 675	59. 6%	143, 302	27. 0%
	2025年 平成37年	521, 629	66, 383	12. 7%	310, 494	59. 5%	144, 752	27. 7%
	2030年 平成42年	509, 323	62, 509	12. 3%	299, 692	58. 8%	147, 122	28. 9%
	2035年 平成47年	494, 970	59, 242	12. 0%	284, 930	57. 6%	150, 798	30. 5%
	2040年 平成52年	478, 844	57, 248	12. 0%	262, 366	54. 8%	159, 231	33. 3%
	2045年 平成57年	461, 961	55, 021	11. 9%	247, 157	53. 5%	159, 783	34. 6%

※総人口実績値は「年齢不詳」を含む。　※平成17年以前は編入・合併前の計数を遡及集計している。



■人口ピラミッドの比較



（資料：実績値は「国勢調査」、推計値は姫路経済研究所推計）

3 人 口 (4) 小学校校区別人口推移及び推計①

小学校校区別の総人口は、平成27年（2015年）対平成57年（2045年）でみると、69校区中７校区（城陽、手柄、荒川、大津茂、高浜、糸引、別所）で増加し、残りの62校区は減少する推計結果となった。

減少数が大きい順に峰相（▲2,517人）、豊富（▲2,456人）、青山（▲2,214人）、減少率が高い順に家島（▲51.8%）、林田（▲44.4%）、前之庄（▲43.0%）となっている。

人口の30%以上減少を予想する小学校校区は18校区で、うち４校区では40%以上の人口減少となり、最多人口校区と最少人口校区の総人口の開きは、現在の24倍から39倍に拡大する。また、現在人口が増加している小学校校区は、30年後に高齢者が急増する可能性が高い校区となる。

ブロック	小学校区	実績値		推計値							
		平成22年（2010年）	平成27年（2015年）	平成32年（2020年）	平成37年（2025年）	平成42年（2030年）	平成47年（2035年）	平成52年（2040年）	平成57年（2045年）	2045年－2015年 増減数	2045年－2015年 増減率
姫路市	合　計	536,270	535,664	531,021	521,629	509,323	494,970	478,844	461,961	▲73,703	▲13.8%
中部第一	白　鷺	6,566	6,941	8,196	7,949	7,691	7,428	7,159	6,895	▲ 46	▲ 0.7%
	野　里	5,120	4,830	4,572	4,311	4,048	3,792	3,538	3,294	▲ 1,536	▲31.8%
	城　東	7,327	6,881	6,512	6,165	5,793	5,415	5,039	4,678	▲ 2,203	▲32.0%
	東	8,512	8,165	7,835	7,500	7,145	6,778	6,402	6,040	▲ 2,125	▲26.0%
	船　場	7,608	8,158	8,410	8,175	7,914	7,638	7,348	7,057	▲ 1,101	▲13.5%
	城　西	8,751	8,375	8,024	7,680	7,317	6,982	6,632	6,276	▲ 2,099	▲25.1%
	城　乾	6,487	6,428	6,310	6,158	5,955	5,733	5,508	5,292	▲ 1,136	▲17.7%
	小　計	50,371	49,778	49,858	47,938	45,864	43,766	41,625	39,532	▲10,246	▲20.6%
中部第二	城　陽	11,344	12,150	12,581	12,838	13,015	13,097	13,076	12,980	830	6.8%
	手　柄	11,936	12,317	12,526	12,622	12,666	12,661	12,593	12,475	158	1.3%
	荒　川	15,939	17,480	18,119	18,391	18,438	18,335	18,119	17,818	338	1.9%
	高　岡	13,288	13,389	13,383	13,252	13,028	12,733	12,376	11,974	▲ 1,415	▲10.6%
	安　室	12,258	12,143	11,989	11,788	11,510	11,189	10,828	10,443	▲ 1,700	▲14.0%
	安室東	12,668	12,587	12,446	12,236	11,936	11,585	11,190	10,779	▲ 1,808	▲14.4%
	高岡西	8,766	8,666	8,545	8,384	8,156	7,889	7,588	7,270	▲ 1,396	▲16.1%
	小　計	86,199	88,732	89,590	89,510	88,749	87,489	85,769	83,739	▲ 4,993	▲ 5.6%
網干	大津茂	6,796	7,648	7,984	8,127	8,161	8,131	8,048	7,934	286	3.7%
	網　干	9,727	9,698	9,590	9,454	9,282	9,092	8,877	8,657	▲ 1,041	▲10.7%
	旭　陽	10,533	10,496	10,406	10,281	10,094	9,858	9,580	9,282	▲ 1,214	▲11.6%
	勝　原	12,131	12,263	12,219	12,112	11,935	11,709	11,448	11,180	▲ 1,083	▲ 8.8%
	余　部	4,830	4,791	4,730	4,647	4,541	4,413	4,265	4,119	▲ 672	▲14.0%
	網干西	6,998	6,900	6,716	6,494	6,254	6,004	5,743	5,468	▲ 1,432	▲20.7%
	小　計	51,015	51,796	51,646	51,114	50,267	49,205	47,960	46,640	▲ 5,156	▲10.0%
広畑	広　畑	6,454	6,298	6,124	5,928	5,702	5,466	5,214	4,964	▲ 1,334	▲21.2%
	広畑第二	12,064	12,075	11,997	11,918	11,812	11,667	11,481	11,262	▲ 813	▲ 6.7%
	八　幡	16,206	16,442	16,360	16,245	16,058	15,790	15,482	15,150	▲ 1,292	▲ 7.9%
	大　津	12,518	12,637	12,549	12,398	12,184	11,939	11,689	11,448	▲ 1,189	▲ 9.4%
	南大津	5,253	5,060	4,876	4,686	4,475	4,256	4,024	3,796	▲ 1,264	▲25.0%
	小　計	52,495	52,512	51,907	51,176	50,232	49,118	47,890	46,620	▲ 5,892	▲11.2%
飾磨	飾　磨	16,077	16,208	16,168	16,073	15,893	15,654	15,365	15,045	▲ 1,163	▲ 7.2%
	津　田	13,477	13,519	13,533	13,523	13,432	13,274	13,040	12,753	▲ 766	▲ 5.7%
	英賀保	15,615	15,648	15,601	15,524	15,387	15,199	14,953	14,680	▲ 968	▲ 6.2%
	高　浜	13,417	14,158	14,630	14,977	15,266	15,497	15,641	15,704	1,546	10.9%
	妻　鹿	4,796	4,502	4,240	4,009	3,763	3,515	3,269	3,034	▲ 1,468	▲32.6%
	小　計	63,382	64,035	64,172	64,106	63,740	63,139	62,268	61,216	▲ 2,819	▲ 4.4%

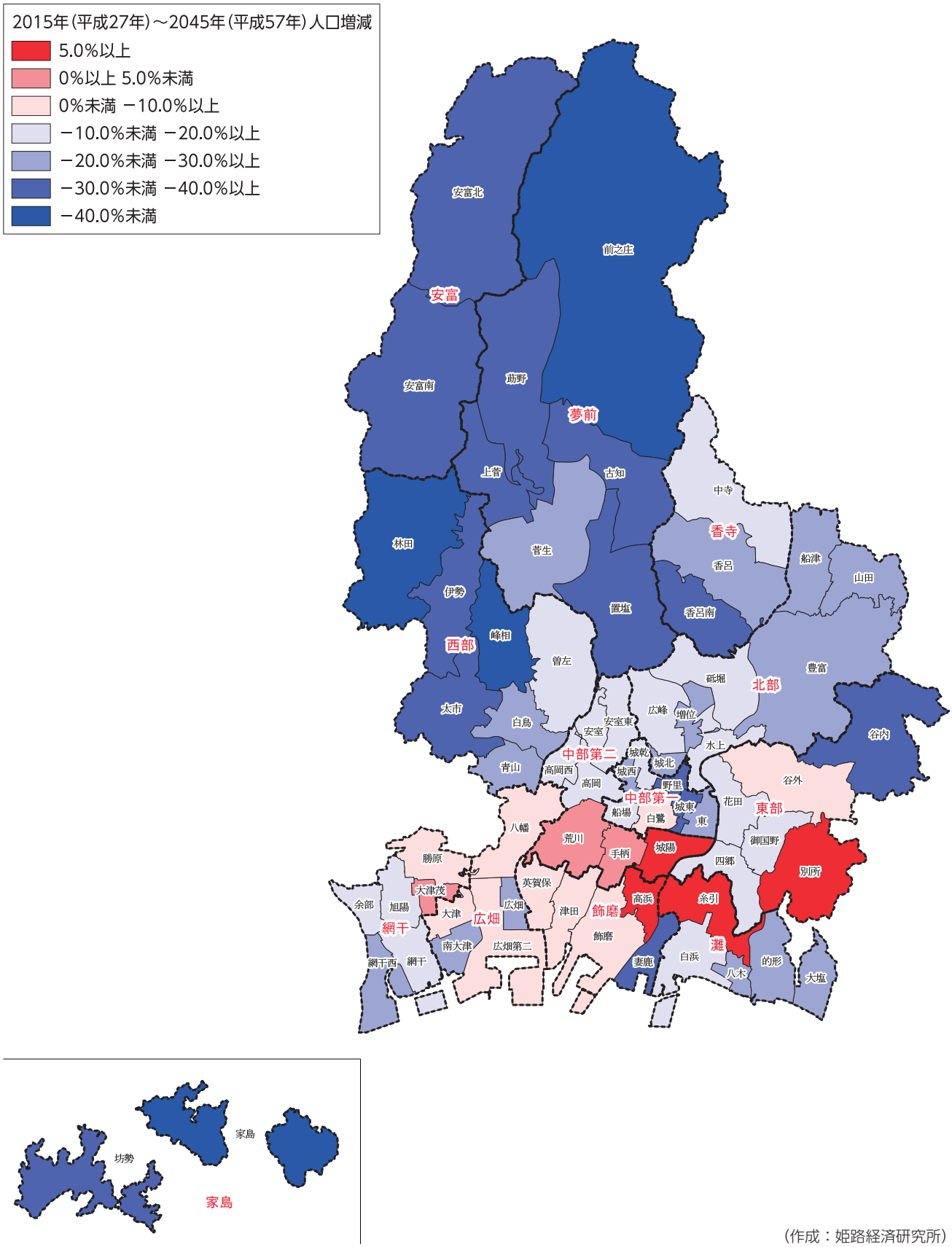
（姫路経済研究所推計）

3 人 口 (4) 小学校校区別人口推移及び推計②

ブロック	小学校区	実績値 平成22年(2010年)	実績値 平成27年(2015年)	推計値 平成32年(2020年)	推計値 平成37年(2025年)	推計値 平成42年(2030年)	推計値 平成47年(2035年)	推計値 平成52年(2040年)	推計値 平成57年(2045年)	2045年－2015年 増減数	2045年－2015年 増減率
灘	白浜	15,663	15,611	15,516	15,337	15,078	14,746	14,335	13,888	▲ 1,723	▲11.0%
	八木	2,661	2,493	2,374	2,265	2,142	2,008	1,880	1,763	▲ 730	▲29.3%
	糸引	9,425	10,763	11,381	11,744	11,948	12,055	12,087	12,057	1,294	12.0%
	的形	6,042	5,883	5,710	5,516	5,279	5,016	4,730	4,443	▲ 1,440	▲24.5%
	大塩	7,328	7,138	6,913	6,664	6,377	6,078	5,781	5,491	▲ 1,647	▲23.1%
	小計	41,119	41,888	41,894	41,526	40,824	39,904	38,812	37,643	▲ 4,245	▲10.1%
東部	花田	8,724	8,649	8,512	8,370	8,189	7,966	7,698	7,403	▲ 1,246	▲14.4%
	四郷	7,229	7,156	7,035	6,870	6,681	6,469	6,246	6,007	▲ 1,149	▲16.1%
	御国野	9,519	9,342	9,196	9,021	8,792	8,521	8,197	7,850	▲ 1,492	▲16.0%
	別所	7,269	8,304	8,746	8,994	9,124	9,173	9,162	9,118	814	9.8%
	谷外	5,428	5,650	5,702	5,694	5,660	5,609	5,544	5,489	▲ 161	▲ 2.9%
	谷内	2,248	2,127	2,005	1,872	1,740	1,615	1,487	1,358	▲ 769	▲36.2%
	小計	40,417	41,228	41,196	40,820	40,187	39,354	38,335	37,224	▲ 4,004	▲ 9.7%
北部	城北	6,859	6,627	6,381	6,151	5,917	5,678	5,427	5,160	▲ 1,467	▲22.1%
	広峰	11,875	11,943	11,882	11,670	11,402	11,106	10,796	10,439	▲ 1,504	▲12.6%
	水上	10,726	10,744	10,687	10,547	10,332	10,048	9,706	9,325	▲ 1,419	▲13.2%
	砥堀	6,112	6,124	6,071	6,013	5,922	5,797	5,643	5,471	▲ 653	▲10.7%
	増位	6,682	6,472	6,260	6,026	5,749	5,442	5,103	4,745	▲ 1,727	▲26.7%
	豊富	8,868	8,388	7,994	7,627	7,212	6,789	6,356	5,932	▲ 2,456	▲29.3%
	山田	2,956	2,793	2,666	2,541	2,411	2,278	2,145	2,011	▲ 782	▲28.0%
	船津	4,508	4,310	4,118	3,924	3,718	3,505	3,286	3,077	▲ 1,233	▲28.6%
	小計	58,586	57,401	56,057	54,500	52,663	50,644	48,462	46,159	▲11,242	▲19.6%
西部	曽左	11,719	11,786	11,661	11,323	10,942	10,519	10,111	9,716	▲ 2,070	▲17.6%
	白鳥	5,779	5,676	5,543	5,354	5,120	4,866	4,593	4,318	▲ 1,358	▲23.9%
	太市	1,949	1,815	1,699	1,585	1,468	1,353	1,238	1,129	▲ 686	▲37.8%
	林田	3,995	3,606	3,315	3,049	2,784	2,520	2,256	2,004	▲ 1,602	▲44.4%
	伊勢	1,246	1,144	1,067	1,003	936	865	791	719	▲ 425	▲37.1%
	峰相	6,606	6,242	5,926	5,566	5,139	4,668	4,181	3,725	▲ 2,517	▲40.3%
	青山	11,114	10,820	10,566	10,283	9,940	9,541	9,081	8,606	▲ 2,214	▲20.5%
	小計	42,408	41,089	39,778	38,161	36,329	34,333	32,251	30,218	▲10,871	▲26.5%
香寺	中寺	7,193	7,205	7,111	6,958	6,750	6,506	6,248	6,015	▲ 1,190	▲16.5%
	香呂	8,796	8,545	8,280	8,000	7,667	7,294	6,888	6,491	▲ 2,054	▲24.0%
	香呂南	3,126	2,985	2,868	2,732	2,571	2,394	2,204	2,023	▲ 962	▲32.2%
	小計	19,115	18,735	18,258	17,689	16,989	16,193	15,339	14,529	▲ 4,206	▲22.4%
家島	家島	3,427	2,731	2,380	2,124	1,893	1,682	1,487	1,316	▲ 1,415	▲51.8%
	坊勢	2,560	2,167	1,982	1,870	1,778	1,689	1,598	1,505	▲ 662	▲30.5%
	小計	5,987	4,898	4,362	3,993	3,671	3,371	3,085	2,822	▲ 2,076	▲42.4%
夢前	置塩	3,194	2,985	2,813	2,649	2,473	2,296	2,117	1,939	▲ 1,046	▲35.0%
	古知	2,643	2,503	2,392	2,278	2,146	2,002	1,848	1,690	▲ 813	▲32.5%
	前之庄	5,333	4,840	4,456	4,113	3,770	3,431	3,092	2,757	▲ 2,083	▲43.0%
	莇野	1,598	1,422	1,346	1,264	1,185	1,110	1,033	954	▲ 468	▲32.9%
	上菅	1,995	1,879	1,774	1,664	1,550	1,434	1,313	1,189	▲ 690	▲36.7%
	菅生	5,049	4,919	4,783	4,648	4,476	4,263	4,024	3,776	▲ 1,143	▲23.2%
	小計	19,812	18,548	17,564	16,615	15,600	14,535	13,427	12,304	▲ 6,244	▲33.7%
安富	安富南	4,562	4,287	4,058	3,844	3,615	3,370	3,117	2,855	▲ 1,432	▲33.4%
	安富北	802	737	681	635	593	549	503	459	▲ 278	▲37.7%
	小計	5,364	5,024	4,739	4,479	4,208	3,919	3,621	3,314	▲ 1,710	▲34.0%

3 人 口　(4) 小学校校区別人口推移及び推計③

平成27年（2015年）対平成57年（2045年）の小学校校区別の人口増減率を地図で表した。中心部は増加や微減の校区が多いが、周辺部は減少傾向にある。



（作成：姫路経済研究所）

3 人 口 (5) 世帯類型別推移及び推計

当研究所の推計では、姫路市の世帯数は、平成32年（2020年）の218,280世帯をピークに、減少局面を迎え、平成57年（2045年）において196,997世帯と、平成27年（2015年）に比べて15,447世帯（7.2%）減少する。

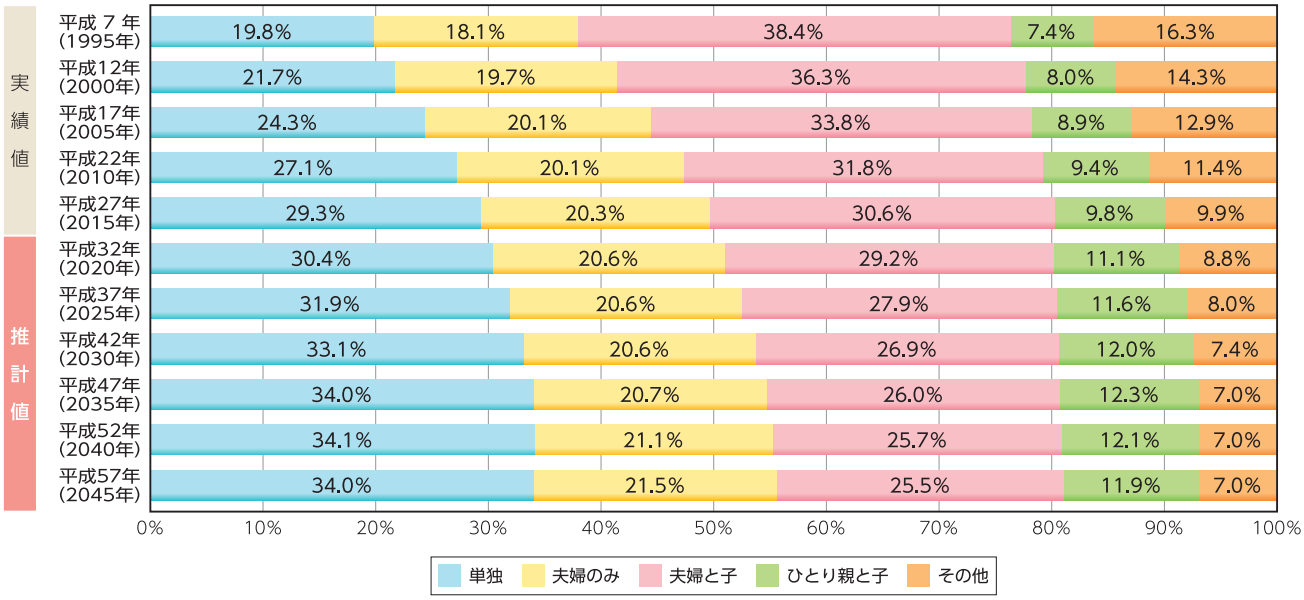
世帯類型別では、「単独世帯」と「ひとり親と子世帯」は平成47年（2035年）まで増加を続け、ほかの３類型は減少傾向が続く。

世帯類型別構成比でみると、「単独世帯」の構成比は平成47年（2035年）まで上昇し、以降は34%程度で横ばいにて推移する。また、平成27年（2015年）には30.6%と最も比率の高かった「夫婦と子世帯」の構成比は下降を続け、平成57年（2045年）には25.5%まで低下する。

この結果、単独世帯が最大の構成世帯になる。

■世帯数及び世帯類型

	年 次	合 計	単 独	夫婦のみ	夫婦と子	ひとり親と子	その他
実績値	1995年 平成７年	174,553	34,569	31,644	66,973	12,832	28,535
	2000年 平成12年	186,426	40,446	36,713	67,642	14,881	26,744
	2005年 平成17年	195,560	47,490	39,343	66,122	17,403	25,202
	2010年 平成22年	205,357	55,752	41,313	65,325	19,231	23,472
	2015年 平成27年	212,444	62,344	43,245	65,048	20,842	20,965
推計値	2020年 平成32年	218,280	66,358	44,859	63,660	24,216	19,187
	2025年 平成37年	217,383	69,304	44,749	60,733	25,246	17,351
	2030年 平成42年	213,930	70,798	44,159	57,462	25,675	15,836
	2035年 平成47年	208,701	70,953	43,217	54,225	25,708	14,597
	2040年 平成52年	203,049	69,157	42,934	52,216	24,524	14,218
	2045年 平成57年	196,997	66,970	42,349	50,314	23,521	13,843



■一般世帯数と平均世帯人員

	年 次	姫路市		全 国
		一般世帯数	平均世帯人員	
実績値	1995年 平成７年	174,553	2.99	2.82
	2000年 平成12年	186,426	2.83	2.67
	2005年 平成17年	195,560	2.70	2.55
	2010年 平成22年	205,357	2.57	2.42
	2015年 平成27年	212,444	2.48	2.33

	年 次	姫路市		全 国
		一般世帯数	平均世帯人員	
推計値	2020年 平成32年	218,280	2.39	2.26
	2025年 平成37年	217,383	2.36	2.19
	2030年 平成42年	213,930	2.35	2.15
	2035年 平成47年	208,701	2.34	2.11
	2040年 平成52年	203,049	2.32	2.08
	2045年 平成57年	196,997	2.31	

（資料：実績値「国勢調査」、推計値（全国）「日本の世帯数の将来推計（国立社会保障・人口問題研究所）」、（姫路市）姫路経済研究所推計）

4 産 業 (1) 産業構造

播磨地域の中核都市としての姫路の産業は、臨海部に立地する鉄鋼、化学、電気機械などの製造業と活発な商業活動により発展してきた。こうした経済基盤のもと、産業構造も変化しつつある。

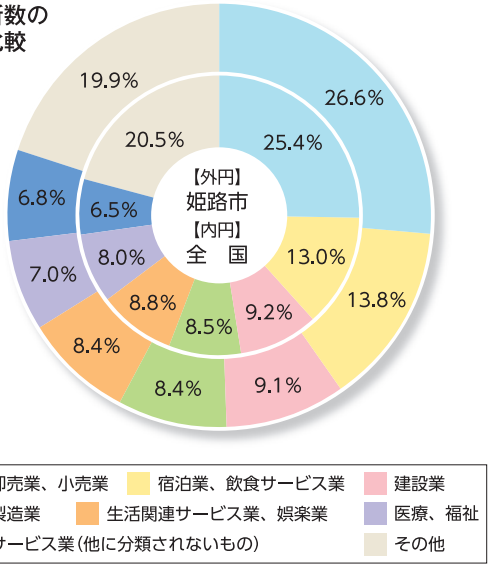
■事業所数

（単位：事業所）

分　　類	平成28年(2016年) 姫路市	全　国
卸売業、小売業	6, 296	1, 355, 060
宿泊業、飲食サービス業	3, 256	696, 396
建設業	2, 156	492, 734
製造業	1, 999	454, 800
生活関連サービス業、娯楽業	1, 993	470, 713
医療、福祉	1, 645	429, 173
サービス業(他に分類されないもの)	1, 603	346, 616
その他	4, 712	1, 095, 291
合　　計	23, 660	5, 340, 783

(資料：経済センサス－活動調査 産業横断的集計)

事業所数の構成比較



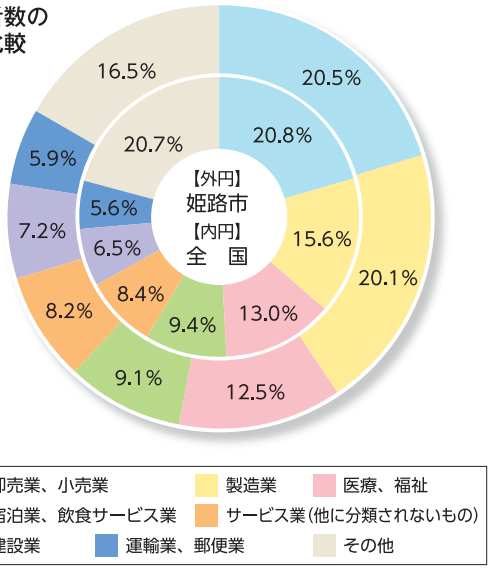
■従業者数

（単位：人）

分　　類	平成28年(2016年) 姫路市	全　国
卸売業、小売業	50, 127	11, 843, 869
製造業	49, 245	8, 864, 253
医療、福祉	30, 541	7, 374, 844
宿泊業、飲食サービス業	22, 266	5, 362, 088
サービス業(他に分類されないもの)	20, 197	4, 759, 845
建設業	17, 594	3, 690, 740
運輸業、郵便業	14, 566	3, 197, 231
その他	40, 434	11, 779, 956
合　　計	244, 970	56, 872, 826

(資料：経済センサス－活動調査 産業横断的集計)

従業者数の構成比較

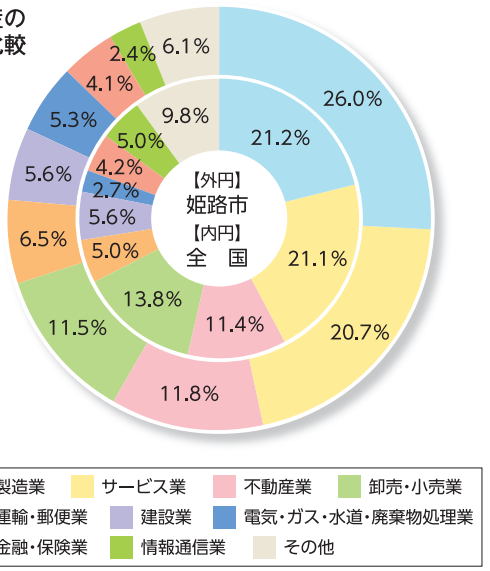


■総生産

分　　類	平成28年(2016年) 姫路市（百万円）	全　国（十億円）
製造業	604, 954	113, 337
サービス業	481, 828	112, 802
不動産業	274, 381	61, 168
卸売・小売業	266, 659	73, 998
運輸・郵便業	151, 066	26, 963
建設業	131, 563	29, 725
電気・ガス・水道・廃棄物処理業	124, 142	14, 414
金融・保険業	95, 868	22, 462
情報通信業	56, 522	26, 830
その他	141, 783	52, 594
合　　計	2, 328, 766	534, 292

(資料：兵庫県「市町民経済計算（速報)」、内閣府「国民経済計算」)

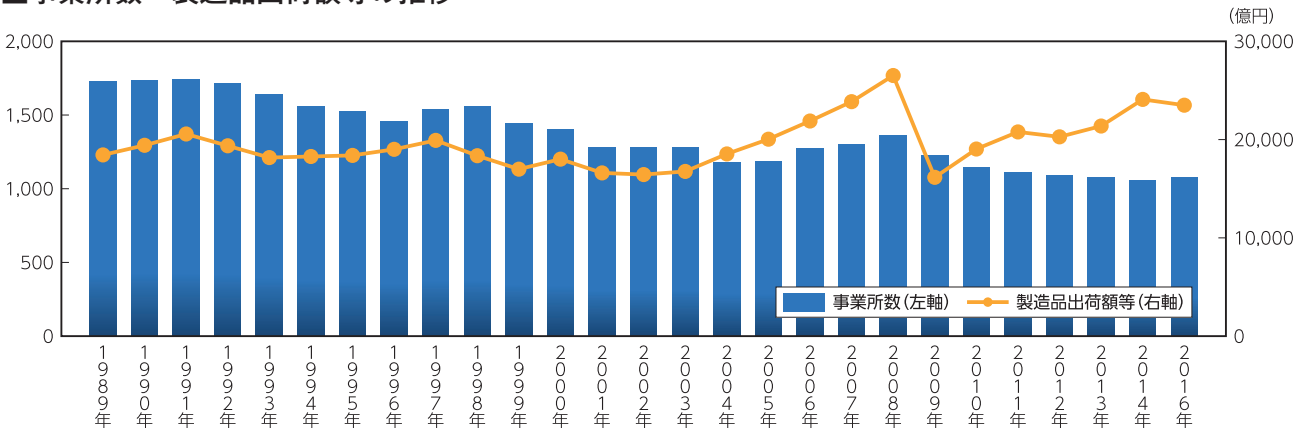
総生産の構成比較



4 産 業 (2) 製造業

経済センサス－活動調査によると、平成28年（2016年）の従業者数４人以上の事業所数は、1,075事業所で、従業者数44,640人となっている。また、製造品出荷額等は２兆3,496億円で、これを産業別にみると鉄鋼業6,550億円と最も多く、ついで電気機械器具製造業の4,918億円となっている。全国と構成比を比較すると、鉄鋼業、電気機械器具製造業、化学工業、業務用機械の割合が高い。

■事業所数・製造品出荷額等の推移



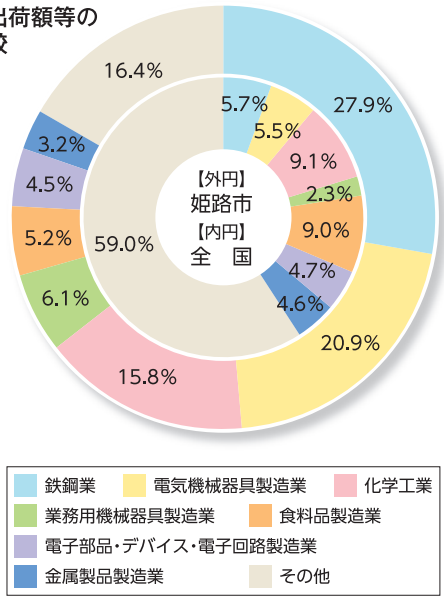
（注）「平成27年工業統計調査」は「平成28年経済センサス－活動調査」実施に伴い中止となったため、平成27年(2015年)データは欠損。

■製造品出荷額等

（単位：億円）

分　類	平成28年(2016年) 姫路市	全　国
鉄鋼業	6,550	178,420
電気機械器具製造業	4,918	173,656
化学工業	3,723	286,222
業務用機械器具製造業	1,434	73,110
食料品製造業	1,211	281,022
電子部品・デバイス・電子回路製造業	1,061	147,883
金属製品製造業	741	143,057
その他	3,857	1,847,916
合　計	23,496	3,131,286

製造品出荷額等の構成比較



■兵庫県下 製造品出荷額等の上位10市町（平成28年(2016年)）

市　町	事業所数	構成比	従業者数(人)	構成比	製造品出荷額等(億円)	構成比
兵庫県　計	9,032	100.0%	348,097	100.0%	154,457	100.0%
神戸市	1,656	18.3%	63,534	18.3%	31,258	20.2%
姫路市	1,075	11.9%	44,640	12.8%	23,496	15.2%
尼崎市	809	9.0%	34,009	9.8%	13,776	8.9%
明石市	327	3.6%	22,186	6.4%	11,117	7.2%
高砂市	154	1.7%	14,204	4.1%	8,640	5.6%
加古川市	336	3.7%	14,731	4.2%	8,587	5.6%
伊丹市	277	3.1%	14,582	4.2%	6,204	4.0%
三田市	98	1.1%	8,807	2.5%	5,726	3.7%
たつの市	375	4.2%	11,531	3.3%	3,990	2.6%
加東市	167	1.8%	6,934	2.0%	3,657	2.4%

※製造品出荷額等の降順

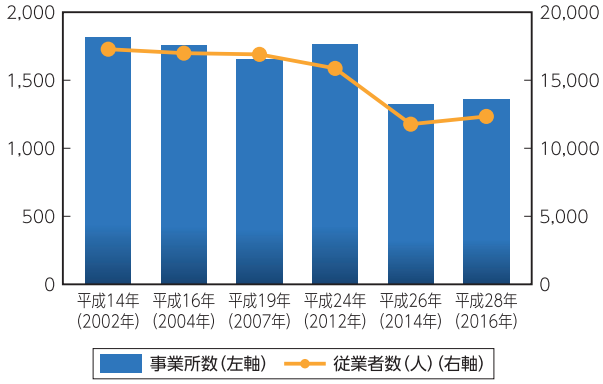
（資料：経済センサス－活動調査 産業別集計、兵庫県「工業統計調査結果」）

4 産 業 (3) 卸売業

経済センサス－活動調査によると、平成28年（2016年）の卸売業は、1,356事業所、従業者数12,341人となっている。また、年間商品販売額は１兆1,043億円で、これを業種別にみると建築材料、鉱物・金属材料等卸売業が2,966億円と最も多く、続いて機械器具卸売業が2,928億円、飲食料品小売業が2,157億円となっている。全国の構成比と比較すると、繊維・衣服等卸売業の割合が高い。

■事業所数・従業者数の推移

年　次	事業所数	従業者数（人）	年間商品販売額（億円）
平成14年（2002年）	1,812	17,277	11,770
平成16年（2004年）	1,755	16,993	11,236
平成19年（2007年）	1,651	16,896	11,555
平成24年（2012年）	1,763	15,874	10,681
平成26年（2014年）	1,320	11,767	10,342
平成28年（2016年）	1,356	12,341	11,043



■年間商品販売額

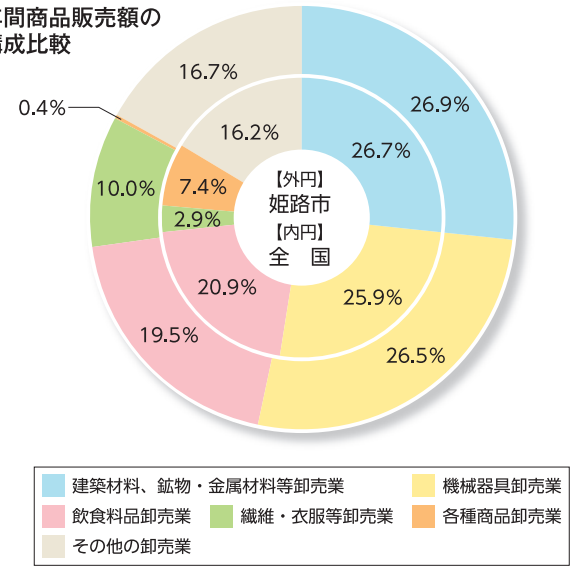
（単位：億円）

分　類	平成28年（2016年） 姫路市	全　国
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	2,966	1,084,959
機械器具卸売業	2,928	1,054,624
飲食料品卸売業	2,157	850,238
繊維・衣服等卸売業	1,100	117,043
各種商品卸売業	43	301,064
その他の卸売業	1,849	660,275
合　計	11,043	4,068,203

（資料：経済センサス－活動調査、商業統計調査）

- 「商業統計調査」と「平成24年経済センサス」では、集計対象等が異なっている。
- 「平成26年商業統計調査」は、日本標準産業分類の第12回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回実施の平成19年調査の数値とは接続しない。

年間商品販売額の構成比較



■兵庫県下 年間商品販売額の上位10市町（平成28年（2016年））

市　町	事業所数	構成比	従業者数（人）	構成比	年間商品販売額（億円）	構成比	従業者１人当たりの年間商品販売額（百万円）
兵庫県　計	9,393	100.0%	87,893	100.0%	89,166	100.0%	101.4
神戸市	3,419	36.4%	36,713	41.8%	37,796	42.4%	103.0
姫路市	1,356	14.4%	12,341	14.0%	11,043	12.4%	89.5
西宮市	450	4.8%	5,152	5.9%	10,830	12.1%	210.2
尼崎市	692	7.4%	7,340	8.4%	6,794	7.6%	92.6
明石市	360	3.8%	3,052	3.5%	4,092	4.6%	134.1
伊丹市	188	2.0%	2,234	2.5%	3,230	3.6%	144.6
加古川市	337	3.6%	3,223	3.7%	2,789	3.1%	86.5
稲美町	48	0.5%	662	0.8%	2,656	3.0%	401.2
三木市	228	2.4%	2,009	2.3%	1,179	1.3%	58.7
豊岡市	216	2.3%	1,660	1.9%	792	0.9%	47.7

※年間商品販売額の降順

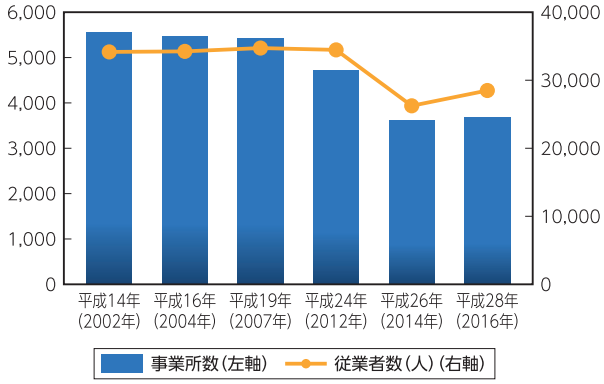
（資料：経済センサス－活動調査 産業別集計）

4 産 業 (4) 小売業

経済センサス－活動調査によると、平成28年の小売業は、3, 688事業所、従業者数28, 489人となっている。また、年間商品販売額は5, 780億円で、これを業種別にみると飲食料品小売業が1, 559億円と最も多く、続いて機械器具小売業が1, 174億円、各種商品小売業が627億円となっている。

■事業所数・従業者数の推移

年 次	事業所数	従業者数（人）	年間商品販売額（億円）
平成14年（2002年）	5, 558	34, 163	5, 807
平成16年（2004年）	5, 464	34, 243	5, 617
平成19年（2007年）	5, 410	34, 731	5, 952
平成24年（2012年）	4, 713	34, 464	4, 621
平成26年（2014年）	3, 622	26, 242	5, 118
平成28年（2016年）	3, 688	28, 489	5, 780



■年間商品販売額

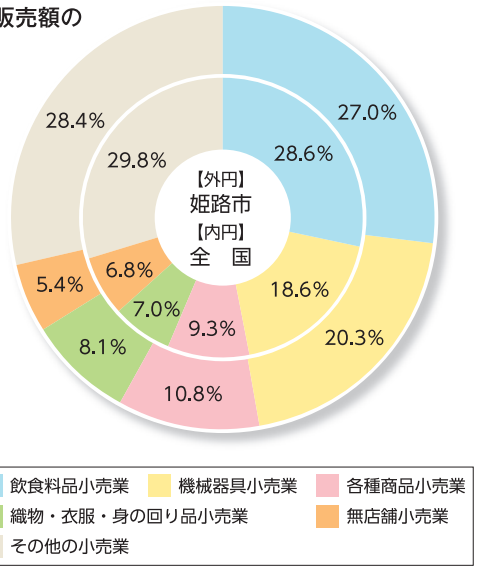
（単位：億円）

分 類	平成28年（2016年） 姫路市	全 国
飲食料品小売業	1, 559	394, 914
機械器具小売業	1, 174	256, 420
各種商品小売業	627	128, 227
織物・衣服・身の回り品小売業	466	96, 024
無店舗小売業	313	93, 378
その他の小売業	1, 643	411, 193
合 計	5, 780	1, 380, 156

（資料：経済センサス－活動調査、商業統計調査）

- 「商業統計調査」と「平成24年経済センサス」では、集計対象等が異なっている。
- 「平成26年商業統計調査」は、日本標準産業分類の第12回改定及び調査設計の大幅変更を行ったことに伴い、前回実施の平成19年調査の数値とは接続しない。

年間商品販売額の構成比較



■兵庫県下 年間商品販売額の上位10市町（平成28年（2016年））

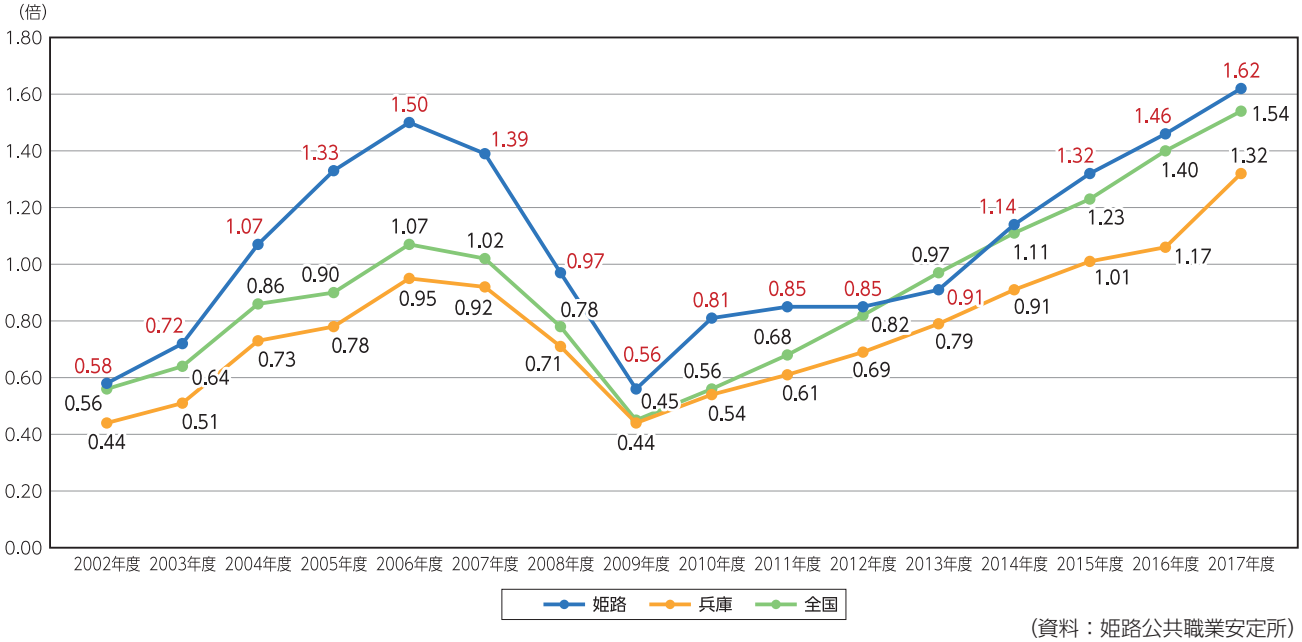
市 町	事業所数	構成比	従業者数（人）	構成比	年間商品販売額（億円）	構成比	売場面積（㎡）	構成比	1㎡当たりの販売額（万円）
兵庫県 計	32, 657	100. 0%	264, 530	100. 0%	54, 628	100. 0%	5, 491, 884	100. 0%	99. 5
神戸市	9, 389	28. 8%	81, 659	30. 9%	18, 687	34. 2%	1, 601, 886	29. 2%	116. 7
姫路市	3, 688	11. 3%	28, 489	10. 8%	5, 780	10. 6%	649, 045	11. 8%	89. 1
西宮市	2, 059	6. 3%	21, 274	8. 0%	4, 419	8. 1%	383, 885	7. 0%	115. 1
尼崎市	2, 389	7. 3%	19, 590	7. 4%	3, 580	6. 6%	363, 450	6. 6%	98. 5
加古川市	1, 252	3. 8%	11, 800	4. 5%	2, 474	4. 5%	292, 098	5. 3%	84. 7
明石市	1, 428	4. 4%	12, 371	4. 7%	2, 150	3. 9%	228, 399	4. 2%	94. 1
伊丹市	867	2. 7%	9, 065	3. 4%	1, 927	3. 5%	202, 139	3. 7%	95. 3
宝塚市	847	2. 6%	7, 880	3. 0%	1, 504	2. 8%	135, 624	2. 5%	110. 9
川西市	655	2. 0%	6, 481	2. 5%	1, 339	2. 5%	118, 543	2. 2%	113. 0
三田市	467	1. 4%	5, 237	2. 0%	926	1. 7%	130, 454	2. 4%	71. 0

※年間商品販売額の降順

（資料：経済センサス－活動調査 産業別集計）

4 産 業 (5) その他関連指標

■有効求人倍率の推移

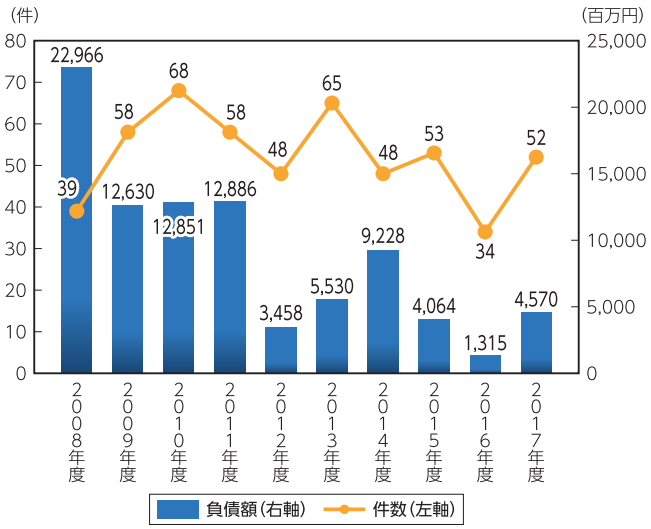


(資料：姫路公共職業安定所)

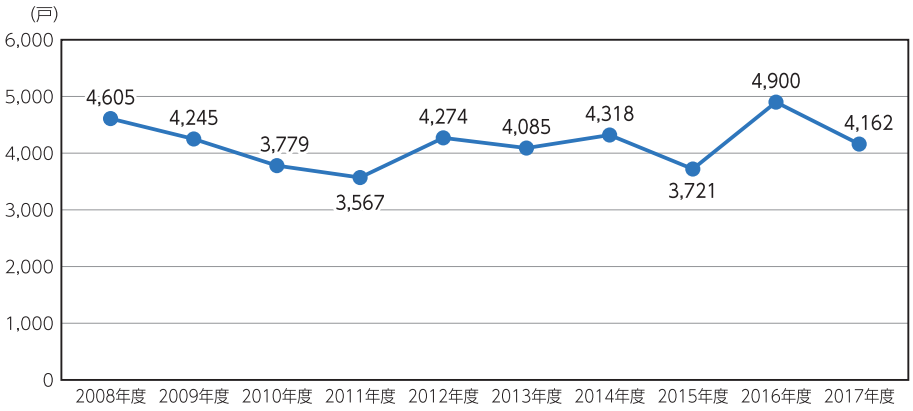
■倒産状況の推移

年 次	件 数	前年差(件数)	負債額(百万円)	前年比(%)
平成20(2008)年度	39		22, 966	62. 9
平成21(2009)年度	58	19	12, 630	▲45. 0
平成22(2010)年度	68	10	12, 851	1. 7
平成23(2011)年度	58	▲ 10	12, 886	0. 3
平成24(2012)年度	48	▲ 10	3, 458	▲73. 2
平成25(2013)年度	65	17	5, 530	59. 9
平成26(2014)年度	48	▲ 17	9, 228	66. 9
平成27(2015)年度	53	7	4, 064	▲56. 0
平成28(2016)年度	34	▲ 21	1, 315	▲67. 6
平成29(2017)年度	52	18	4, 570	247. 5

(資料：帝国データバンク姫路支店)



■新設住宅着工戸数の推移



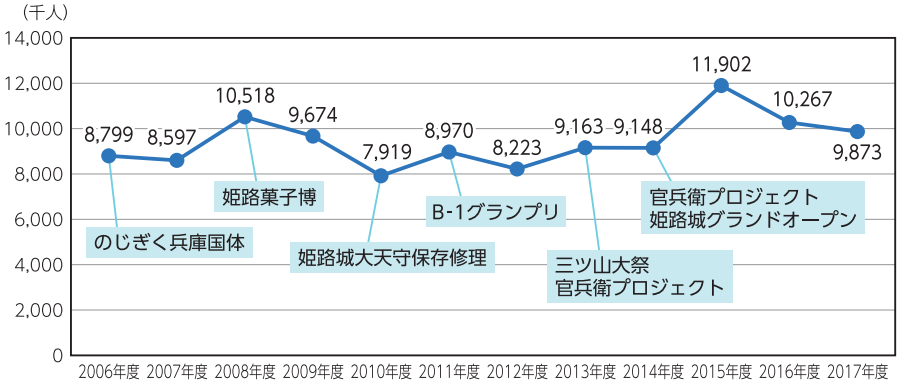
年 次	着工(戸)
平成20(2008)年度	4, 605
平成21(2009)年度	4, 245
平成22(2010)年度	3, 779
平成23(2011)年度	3, 567
平成24(2012)年度	4, 274
平成25(2013)年度	4, 085
平成26(2014)年度	4, 318
平成27(2015)年度	3, 721
平成28(2016)年度	4, 900
平成29(2017)年度	4, 162

(資料：国土交通省「建築着工統計調査」)

5 観 光

姫路市内にある観光主要施設の平成29年度（2017年度）の総入込客数は987万人で、姫路城グランドオープンを契機に大きく増加した平成27年度（2015年度）に比べ約203万人減少した。姫路城の入城者数においても、国内城郭の年間入城者数で過去最多を記録した平成27年度（2015年度）の287万人と比較し、約104万人減の182万人と保存修理前の水準で推移している。外国人入城者数は約34万人で、平成27年度（2015年度）以降、30万人以上で推移しており、外国人の占める割合は上昇している。

■姫路市総入込客数の推移



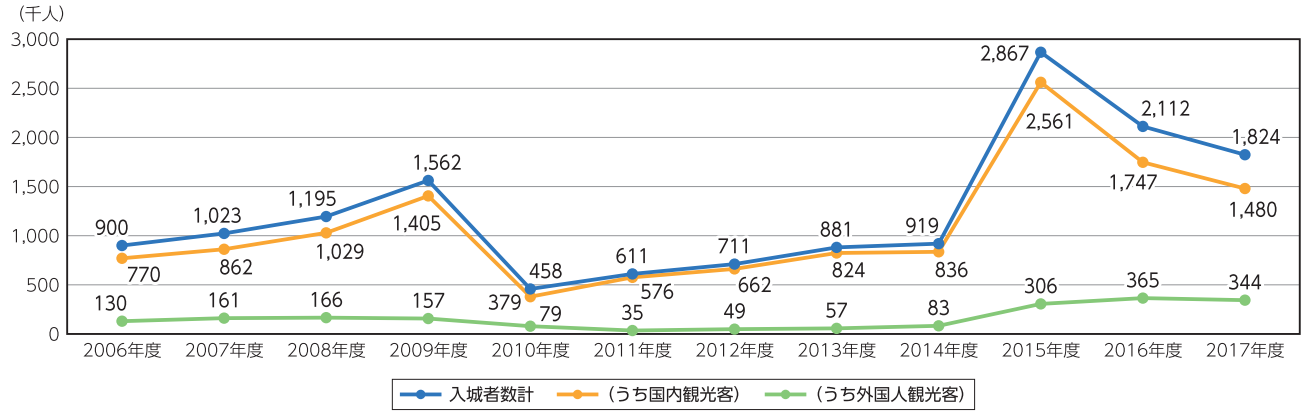
※総入込客数…主要な観光施設、まつり・イベント等への入込客数の合計

（資料：平成29年度姫路市入込客数・観光動向調査報告書）

世界文化遺産・国宝 姫路城

書写山圓教寺

■姫路城の入城者数の推移



（資料：平成29年度姫路市入込客数・観光動向調査報告書）

■新たな観光資源の活用による観光客数増加に向けた取り組み

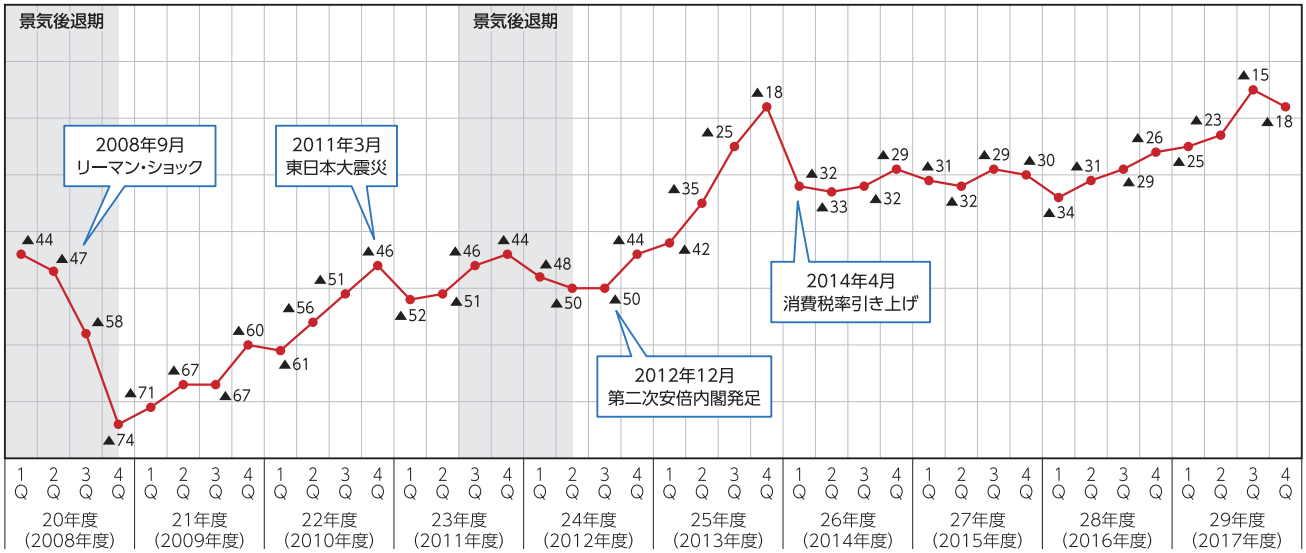
観光庁では、スポーツをインバウンド拡大や国内観光振興の起爆剤となる新たな観光資源として位置付けている。当地には、なでしこリーグ１部を目指す女子サッカーチーム「ASハリマアルビオン」やVリーグ１部を目指すバレーボールチーム「ヴィクトリーナ姫路」などトップスポーツチームの拠点があり、地域に活力を与えている。チームの活躍を通じた地域ブランドの向上や交流人口の増加に期待が寄せられている。

ASハリマアルビオン
（女子サッカー・なでしこリーグ2部所属）

ヴィクトリーナ姫路
（女子バレー・Vリーグ2部所属）

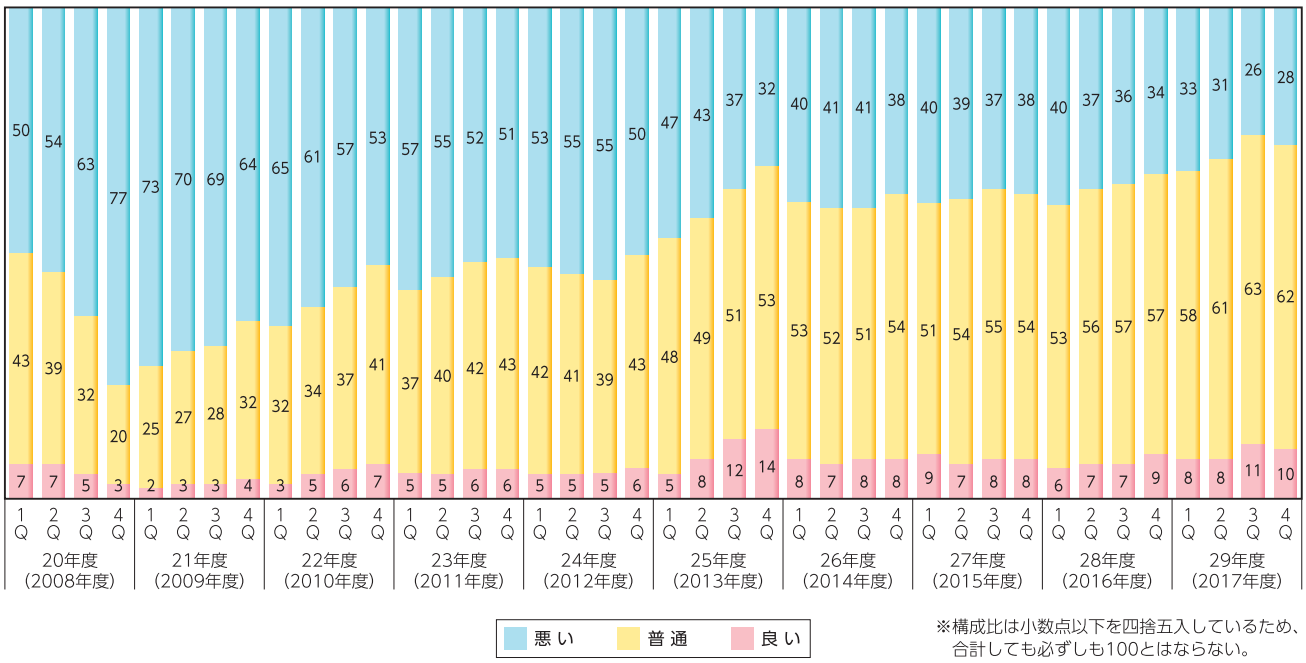
6 姫路市内景気動向

■景気動向調査「姫路の業況判断DI」の長期推移



■「姫路の業況判断DI」構成比の推移

(%)



※構成比は小数点以下を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

■項目別DI値の推移

	28／1Q	28／2Q	28／3Q	28／4Q	29／1Q	29／2Q	29／3Q	29／4Q
業況判断DI	▲ 34	▲ 31	▲ 29	▲ 26	▲ 25	▲ 23	▲ 15	▲ 18
従業員過不足DI	▲ 19	▲ 22	▲ 23	▲ 27	▲ 23	▲ 29	▲ 30	▲ 31
設備過不足DI	▲ 5	▲ 6	▲ 7	▲ 6	▲ 5	▲ 7	▲ 8	▲ 8
在庫過不足DI	7	6	5	4	6	4	4	3
資金繰りDI	▲ 16	▲ 17	▲ 18	▲ 18	▲ 16	▲ 16	▲ 15	▲ 15

※DI値：diffusion index（ディフュージョンインデックス）の略称。
各項目について、「良い」割合から「悪い」割合を引いた値。

（資料：姫路商工会議所「景気動向調査」）

詳しい調査結果は姫路商工会議所（姫路経済研究所）ホームページをご覧ください。

7 姫路市の統計データランキング

ランキングの対象は814市区

面積・人口・世帯

面積	130位	534.48㎢
人口（国勢調査）	32位	535,664人
自然増加率	212位	▲0.15%
社会増加率	373位	▲0.20%
年少人口比率（～14歳）	116位	14.03%
生産年齢人口比率（15～64歳）	218位	60.50%
老年人口比率（65歳～）	610位	25.14%
平均年齢	649位	45.0歳
合計特殊出生率	239位	1.55
世帯数（住民基本台帳）	34位	228,605世帯
１世帯あたり人員	445位	2.31人

財政力

地方税収額	23位	964.58億円
歳出決算総額	27位	2,079.61億円
経常収支比率 ※1	110位	86.1%
公債費負担比率 ※2	408位	14.4%
実質公債費比率 ※3	214位	4.7%
将来負担比率 ※4	223位	0.7%
財政力指数 ※5	146位	0.87
自主財源比率 ※6	172位	56.20%
交付税依存度 ※7	145位	6.78%
人口１人当たり地方債残高	308位	37.13万円

経済力

事業所数	31位	25,055事業所
従業者数	33位	255,212人
上場企業本社数	31位	16社
製造品出荷額等	15位	2兆3,495億円
卸売業年間販売額	43位	1兆1,043億円
小売業年間販売額	37位	5,780億円
大型店店舗数	26位	97店

雇用・マンパワー

労働力人口	31位	257,133人
労働力率・30～40代女性	612位	68.92%
労働力率・高齢者	694位	19.99%
就業人口構成（第１次産業）	677位	1.00%
就業人口構成（第２次産業）	202位	31.08%
就業人口構成（第３次産業）	407位	64.01%

生活基盤・環境

昼夜間人口比率	249位	100.53%
納税者１人当たり所得	176位	326.01万円
持家世帯比率	554位	66.10%
住宅地地価	220位	6.34万円
人口１万人当たり病院・一般診療所数	393位	8.17所
人口１万人当たり医師数	265位	21.83人

（資料：東洋経済新報社「都市データパック2018年版」）

※１　歳出のうち、人件費などの経常的に支出される経費の、市税などの経常的に収入される一般財源に占める割合で、県政の硬直度を表す。この指数が低いほど財政運営の弾力性が高い。

※２　公債費充当一般財源を一般財源総額で除したもので、使途に制限のない地方税、地方交付金など一般財源が公債費に充当されている度合いを示す。財政構造の弾力性をみる指標のひとつ。

※３　自治体の一般事業会計などが負担する元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率（３カ年平均）。公債費による財政負担の度合いを判断する指標で、この比率が18%以上となる自治体は、起債に当たり総務大臣等の許可が必要になる。

※４　自治体の一般事業会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率。中長期的な視点から公営企業や第三セクターなどの出資法人まで含めた、将来の実質的な負債の大きさを判断するための指標。

※５　基準財政収入額を基準財政需要額で除したもの（３カ年度の平均値）。一般的には、収入に対して需要が小さい自治体（財政力指数が大きい自治体）が、財政的には余裕がある。地方交付税は、財政力指数が１を超える団体には交付されず、１を下回る団体に基準にしたがって交付される。

※６　歳入に占める自主財源の割合であり、自治体の財政基盤の安定性や自立性を判断する指標。一般に、この比率が高いほど望ましいと考えられる。

※７　歳入に対する地方交付税の割合。

姫路商工会議所
姫路経済研究所
〒670-8505 姫路市下寺町43番地
ＴＥＬ ０７９ － ２２３ － ６５５０
ＦＡＸ ０７９ － ２８８ － ００４７

※本冊子は、小規模事業者等が経営計画や事業計画等を策定する際の基礎資料として作成しました。

2018年７月発行